

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

指導室

基本目標（１） 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（ア）教育							
主な重要業績評価指標 （KPI）	学校満足度調査「学校は楽しい・どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合						
	積算方法	年度末に行う学校評価における基礎資料となる 児童生徒アンケートから積算					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	89% (H30年度)		90%	90%	90%	90%	95%
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			90%	90%	89.7%	90.2%	88.9%
	目標値の変更	目標値を達成したため、さらに高い目標値に変更を行う。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	学校評価アンケートは年２回実施し、１回目と２回目の結果を比較することができます。普段の様子や教育相談等を実施し、不安等を解消できるように対応しました。また、必要に応じてカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携しました。					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	引き続き、満足度を高める取組と並行して、残り１０％の児童生徒の不満とされる部分への対応が必要です。アンケートは、すべての児童生徒が対象であり、結果を受けて、課題把握と課題解決に向けて取組を充実させて行く必要があります。年２回のアンケートの実施を通して、個々の児童生徒の状況把握が可能ですので、教育相談等を通して、取組を充実させて行きます。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 土木課

基本目標（１）人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（イ）観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	長井浜公園 年間施設利用者数						
	積算方法	年間施設利用者から算出					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	新規		12,000人	14,000人	15,000人	45,000人	45,000人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			28,161人	39,041人	41,771人	48,149人	42,893人
	目標値の変更	令和５年度実績より設定しました。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	新規施設利用者獲得のために、SNS・テレビメディアを通じた広報活動を実施しました(TVCMや広報ポスターの作成・配布)。また、一年を通して様々なイベントを実施(ワークショップ・体験事業(5、7、8、12、1月)、マリンアクティビティ(5～9月)、ディナーコンサート(4～12月)、一日魔法体験(9月)、スイーツ祭り＆ケーキデコレーション教室(3月))し、施設利用促進を図りましたが、猛暑の影響と思われるが、夏場の集客が昨年度より減少し、目標値を達成することができませんでした。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	施設利用の促進に寄与する事業の実施等について指定管理者と協議していきます。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 商業観光課

基本目標（１）人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（イ）観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	サイクルステーションの設置数						
	積算方法	公共施設等へのサイクルステーションの新規の設置数					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	新規		事業開始	累計 5か所	累計 5か所	累計 7か所	累計 10か所
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			累計 0か所	累計 5か所	累計 5か所	累計 5か所	累計 5か所
	目標値の変更	サイクルステーションの設置数 (サイクルスタンドの設置、増設施設を含む)					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	令和6年度まで公共施設へのサイクルスタンドの増設、新規の設置ができておりません。令和7年度以降は、コスメイト行橋への新規設置を行い、さらに民間施設への新規設置が行えるよう取り組みます。 ・サイクルステーション既存設置 5か所：椿市地域交流センター、行橋赤レンガ館、守田蓑洲旧居、行橋総合公園、長井浜公園					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	サイクル観光の誘客促進のために、サイクルスタンドの増設を行いながら、県の補助事業等を活用して、民間施設への設置協力にも取り組んでいきます。またデジタルスタンプラリーのような誘客イベントを実施し、既存のステーションやスタンド設置の店舗等をPRできるように取り組みます。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	（質）行橋市は駅から行ったきりになってしまい交通の便が良くないという声を聴くことがある。サイクルステーションだけではなく、レンタルサイクルの導入などの交通施策は考えていないのか。 （答）現状実施している交通施策はないが、サイクルステーションを活用したイベントを企画しており、レンタルサイクルについても来年度導入できないか検討している。 （答）レンタルサイクルは民間主導で長井浜にて導入されている。サイクルステーションを設置することで、こういった民間の動きが出てくるので、民間との連携も大切。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 スポーツ振興課

基本目標（１） 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（イ）観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	ビーチスポーツ・マリンスポーツを通しての集客人数						
	積算方法	ビーチバレー集客者数（大会通じて） マラソン参加者数 マラソン沿道応援者数 マラソンボランティアスタッフ数					
		基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	7,874人 (R1年度)	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			10,000人	10,000人	7,000人	7,000人	7,000人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		7,874人	0人	0人	3,904人	3,690人	3,887人
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	ハーフマラソンの部ゲストランナーに安川電機陸上部監督 中本健太郎氏を迎え、参加ランナーからは「地元企業のオリンピックの参加が刺激になった」との声が寄せられるなど、盛り上がりを見せました。また、5kmの部ゲストランナーには、視覚障害のあるパラサイクリング日本代表の木村和平氏を迎え、目の見えない状態で身体を動かす「ブラインドストレッチ体験」のワークショップやステージトークショーを会場内で開催し、パラスポーツの普及に向けた取り組みも実施しました。					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	今回でマラソン大会事業が開始されて10年目となる節目の大会であったとともに、申込者は過去最高の3,035名となり、本イベントが地域ならびに県内外にも広く認知され、定着してきたと考えられます。今後特に応援者や併催イベントによる来客も増やせるように取り組んでまいります。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 商業観光課

基本目標（１）人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（イ）観光・イベント							
主な重要業績評価指標 (KPI)	市の観光PRポータルサイトのアクセス数						
	積算方法	観光ポータルサイトのアクセス解析ツールを利用し、アクセス数を集計					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
	252,000PV (H30年度)		400,000PV	380,000PV	380,000PV	320,000PV	250,000回
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		355,200PV	360,819PV	288,497PV	299,989PV	231,433回	241,604回
	目標値の変更	指標のPV（ページビュー）数は、グーグルアナリティクスを用いて集計していましたが、令和5年7月よりグーグル側の仕様変更により、「PV数」が集計できなくなりました。代わりに「表示回数」を集計の指標とするため、単位を回と改めました。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	上記欄記載のように、グーグルアナリティクスの仕様変更がありました。「PV数」と「表示回数」ではデータ集計のやり方が違うため、別の指標としてとらえて、集計管理を行っていききたいと思います。別の指標ではありますが、令和6年度の実績値は、目標値を下回る結果となりました。今後につきましては、「ゆくゆくはし」の記事を充実させる取り組みを行い、PRに努め、「表示回数」の増加に向けて取り組みます。					
事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	「表示回数」を増やすため、新規ユーザーを増やし、サイト上での閲覧時間を増加させる必要があります。イベント情報や観光情報の掲載方法を工夫し、LINE連携を効果的に活用するなどの取り組みを行っていききたいと思います。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 総合政策課

基本目標（１）人を惹きつける学びあふれるまち～地方への新しい人の流れをつくる～							
（ウ）移住・定住							
主な重要業績評価指標 (KPI)	行橋市への移住者数（京築除く）：累計195人（R2～R6）						
	積算方法	各年（4/1～3/31）の住民基本台帳ベースでの 転入数－転出					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	39人 (H30年度)		39人	39人	39人	39人	39人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			▲191人	▲68人	358人	163人	▲168人
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	（転入） 【全国】3,199人 【京築除く】2,460人 （転出） 3,178人 2,628人 （増減） 21人 -168人 全国の移住情報が掲載されているポータルサイトに掲載をしてもらっている。東京交通会館内にあるふるさと回帰センターへ訪問し、行橋市の現状について説明し、移住希望者に対してのPRを依頼した。 また令和6年度は行橋市制施行70周年であるため、記念フェア、作品展覧会を計画し、文化芸術など行橋市の魅力を市内外に広くPRし、移住定住促進を図った。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	県や移住相談センター主催の移住イベントや勉強会に積極的に参加したい。また、転出数を少なくするために、移住支援策だけでなく市民に対する支援策を検討していきたい。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	（質）行橋市への移住者数については、転入・転出の理由によって捉え方も変わるが、どう捉えているのか。 （答）10代後半～20代前半では就職・進学を理由とした転出が多く、逆に20代後半から30代では転入が多くなっている。住む場所として行橋市が選ばれていると捉えている。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 農林水産課

基本目標（１） 人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～						
（エ）農産物・水産物の開発・高付加価値化						
主な重要業績評価指標 (KPI)	新規就農者数					
	積算方法	(～R3)行橋市農業次世代人材投資資金交付要綱に基づく農業次世代人材投資資金（経営開始型）を受給した者の数(積算累計値) (R4～)行橋市新規就農者育成総合対策経営開始資金交付要綱に基づく新規就農者育成総合対策資金（経営開始型）を受給した者の数(積算累計値) ※第5次行橋市総合計画の目標値ベースを採用				
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値
	11人 (H30年度)		累計14人	累計18人	累計18人	累計18人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計13人	累計16人	累計16人	累計17人	累計18人
	目標値の変更	実績値が目標値に到達したため				
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	給付金に対する相談は計5件（市：5件）あり、交付要件を満たす新規就農者が1名いました。 また、担い手部会が主催となり開催される関係機構（県・各市町村・JA）と連携した「就農・就業相談会in京築」では、7名の相談を受け付け、直接の新規就農にまではつながりませんでした。就農希望者の意欲と理解を促進することになりました。				
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	受給には、現状と目標（5年後）を定めた就農計画を提出し市からの認定を受ける必要があります。目標年に、年間農業所得300万程度（給付金を除く）、年間総労働時間2,000時間程度を認定基準としており、目標の達成及び資金交付終了後の就農のステップアップが難しいものとなっています。今後も就農計画の目標達成に向け、市・県・JA等のサポートを引き続き行っていきます。				
	推進本部会議で出た意見等	なし				
	有識者会議での外部評価	(質) 相談者の状況と給付金の詳細について詳細を知りたい。 (答) 給付金は念150万円×3ヶ年で計450万円。新規で相談に来られた方については審査会で認定している。年間で10人程度相談者がおり、令和6年度に相談に来た1名が交付要件を満たし、令和7年度に就農、5年後に向け継続中。この方が作っている作物はイチジクで、過去実績でもイチゴなどの野菜・果物類が主。				

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

文化課

基本目標（１）人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（オ）まちなか活性化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	行橋公募彫刻展への応募件数及びイベント参加者数						
	積算方法	国際公募彫刻展に対する応募件数 イベント参加者数					
	基準値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	イベント参加者数 3,644人 (H30年度)	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
				参加3,783人	参加1,400人	応募44件（R3実績値より確定） 参加3,100人	
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		参加3,644人	応募32件 参加1,235人	応募32件 参加442人	応募44件 イベント参加者796人	応募44件 イベント参加者394名	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	本市で初めての取り組みであり、多額の事業費を要してきたため、事業を進めるにあたり、賛成・反対様々な意見があった。本市の知名度向上や本格的な芸術作品に直接触れることができ、一定の成果があったが、R4年度をもって事業を終了することになった。また、事業内容についても、計画していた関連イベントを中止し、最小限の規模にとどめるに至った。					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	多額の予算を投入してきた事業のため、事業終了と共に過去８年間の成果と課題を整理し、今後の文化事業の方針を検討していく必要がある。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

生涯學習課

基本目標（１）人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（オ）まちなか活性化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	図書館（複合施設）の利用客数						
	積算方法	来館者数					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	利用者数 190,406人 (R2年度)	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			150,000人	来館者 200,000人 図書館貸出者 116,000人 託児施設利用者 3,000人	来館者 200,000人 図書館貸出者 116,000人 託児施設利用者 3,000人	来館者 231,000人 図書館貸出者 133,000人 託児施設利用者 3,900人	来館者 243,000人 図書館貸出者 133,000人 託児施設利用者 4,100人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		図書館 58,047人 視聴覚10, 020人	190,406人	来館者 179,854人 図書館貸出者 108,840人 託児施設利用者 2,683人	来館者 228,066人 図書館貸出者 132,947人 託児施設利用者 3,828人	来館者 241,894人 図書館貸出者 132,270人 託児施設利用者 4,084人	来館者 246,088人 図書館貸出者 128,941人 託児施設利用者 4,635人
	目標値の変更	来館者及び託児施設利用者につきましては、目標値を達成したため、実績値を基に目標値を変更しました。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	リブリオ行橋で市政70周年記念事業等様々なイベント・講座を開催したことにより、令和6年11月に来館者数100万人を突破しました。また本に興味を持ってもらうため、令和５年度から、児童生徒へ小中学校のタブレットを利用し、リブリオ行橋の情報発信を行っております。令和６年度は市内商業施設に移動図書館を配置したり、普段自分では選ばないような本に出会える企画を実施するなどして、読書の楽しさを伝える取り組みを行いました。					
事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	令和７年度も、さまざまな事業を計画し、リブリオ行橋の情報発信をすることにより、利用者数の増に繋がるよう取り組みます。また、図書の貸出者数が令和４年度に比べ令和５年度、６年度ともに減になっているため、読書活動の推進に取り組みます。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

総合政策課

基本目標（１）人を惹きつける学びあふれるまち ～地方への新しい人の流れをつくる～							
（カ）就労支援							
主な重要業績評価指標 (KPI)	ワーク・ライフ・バランスの啓発（セミナー回数・参加人数）						
	積算方法	セミナー回数・参加人数の累計値					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	11回・278人 (H30年度)	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			累計17回 ・470人	累計16回 ・371人 (2回・20人)	累計16回 ・371人 (2回・20人)	累計19回・470 人（4回・80 人）	累計24回・632 人（4回・80 人）
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計13回 333人	累計14回 351人	累計14回・351 人 (0回・0人)	累計15回・390 人（1回・39 人）	累計20回・552 人（5回・162 人）	累計22回・ 590名(2回・38 人)
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	女性活躍推進の観点から、仕事と家庭の両立についての講演を2回開催した。募集人数を超える申込みがあり、参加者からの評判は大変好評であった。					
事業の今後の課題や今後 必要と考える取り組み	市民のニーズを的確に把握し、どのような内容・時間帯で講座を行うべきかを継続して検討していく必要がある。また、講座の開催の発信方法についても工夫していきたい。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

指導室

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（ア）教育							
主な重要業績評価指標 (KPI)	学校満足度調査「学校は安全に学べる環境であると思う・どちらかと言えばそう思う」と回答した保護者の割合						
	積算方法	年度末に行う学校評価における基礎資料となる 保護者アンケート結果から積算					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	88% (H30年度)		90%	90%	90%	90%	95%
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		90%	90%	89%	94.0%	91.2%	89.6%
	目標値の変更	目標値を達成したため、さらに高い目標値に変更を行う。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	年２回「学校評価アンケート」を保護者に実施し、保護者対象にアンケートを実施しました。回答率をあげるために児童生徒が使用しているipadを活用したり、保護者用（安全・安心）メールを活用して、保護者への周知を行いました。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	スクールカウンセラーの活用内容及び方法について、今後、保護者にさらに分かりやすく周知する必要があると考えます。					
	推進本部会議で出た意見等	なし					
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

指導室

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（ア）教育							
主な重要業績評価指標 (KPI)	いじめ・不登校等の問題行動の予防プログラムの実践校						
	積算方法	市内17校中の実施校数					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	8校 (H30年度)		10校	17校	17校	17校	17校
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		10校	10校	17校	17校	17校	17校
	目標値の変更	いじめや不登校などの問題行動の予防・対処法を取り上げた研修は年度内で複数回行われており、積算の対象が増えました。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	市主催の管理職研修会や担当者研修会を定期的に開催し、いじめ問題等へ対応に関する研修を実施しました。また、QU調査を年2回実施し、児童生徒の生活満足度等の調査を行いました。調査実施後は、大学教授やスクールカウンセラー等の専門家を活用した研修も実施しました。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	いじめ問題等は早期発見・早期対応が必要です。今後の研修内容を充実するとともに、外部の専門家等を積極的に活用し、未然防止及び早期発見に取り組んで参ります。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 総合政策課

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（イ）結婚							
主な重要業績評価指標 (KPI)	出会いのイベント参加者						
	積算方法	出会いのイベント参加者の累計値					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	5回・375人 (H30年度)		50人	100人	20人	累計97人 (50人)	累計177人 (60人)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計6回 431人	0人	0人	47人	累計117人 (70人)	累計177人 (60人)
	目標値の変更	変更なし					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	令和５年度より、福岡県出会い応援団体に登録し、県出会い・結婚応援事務局と協力し積極的にイベントを開催した。 ○6/29 ゲームコン（赤レンガ館） 24人参加 7組成立 ○10/20 ピザコン （長井浜） 23人参加 4組成立 ○2/22 BBQコン （ここのえ牧場）13人参加 3組成立					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	出会いの場だけでなく、生活の場として行橋市を選んでもらえるよう行橋市の良さが伝わる会場・企画選択をする。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	（要）市の出会いイベントをきっかけに結婚に至る事例もあるようで、効果が出ていることは素晴らしいと思う。今後年齢制限を無くすことや、高い年齢層に絞ったイベント開催を検討して欲しい。 （答）前向きに検討したい。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（ウ） 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	3月1日時点での待機児童数						
	積算方法	各年度3月1日時点での待機児童数					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	130人 (H31.3.31時点)		50人	90人	90人	90人	90人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			160人	164人	163人	117人	135人
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	・ 保護者へ希望以外の園を案内し、待機児童の減少に努めています。 ・ R6年度は1園で定員を増やし、10名増員しています。 ・ 令和6年度の実績135人のうち、5人は私的待機で、国が定義する待機児童は130名でした。					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	全ての市内園において、その年齢の園児の受入れが出来ない状態となると、私的待機の理由であっても待機児童となります。 また、利用定員に達していなくても保育士不足により児童が受入れられない園も見受けられ、待機児童対策には保育士の確保が必要です。引き続き、保育士の処遇改善を図るための施策に取り組みます。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（ウ） 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	新規の子どもの居場所（遊び場）設置数						
	積算方法	子どもの遊び場の確保数（新規設置）					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	新規		累計1か所	0か所	累計2か所	累計2か所	累計2か所
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			累計1か所	0か所	0か所	0か所	0か所
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	令和6年度も、市内にある子育て支援センター（公設：1カ所、私設：5カ所）で組織する行橋子育て支援センター連絡協議会主催で未就園児の親子を対象としたイベント「子育て支援フェスタ」を実施しました。（参加親子：128組、273人）					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	子育て支援拠点の設置について、引き続き園への声掛けを行っていますが、保育士の配置が必要であるため、保育士確保についての課題も発生します。現在、室内の子どもの遊び場設置（令和8年3月共用開始）にむけて準備を進めております。					
	推進本部会議で出た意見等	なし					
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
(ウ) 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	ファミリーサポートセンター登録者数						
	積算方法	子育ての支援を受けたい会員と子育ての支援を行いたい会員の登録者数の総計					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	212人 (H30年度)		累計500名	累計450名	累計550名	累計550名	累計600名
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計376名	累計401名	累計478名	累計511名	累計561名	累計595名
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	R6年度新規の登録者は54名（支援を受ける：47名、支援を行う：9名、両方：2名） 支援を受けたい会員、支援を行う会員ともに、利用時にアンケートを実施しておりますが、前年度に引き続き満足度は高い結果です。また、支援を行う会員は支援後に報告書を作成し、報告書には支援を受けたい会員から支援内容等の確認サインを得て、信頼関係の構築に努めております。周知活動として、Instagramの利用、健診等でチラシを配布する、市報掲載等の活動を行いました。また、令和4年度より初回利用のハードルを下げるため、1時間無料券を配布しております。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	支援を行う会員は、支援を受けたい会員の4分の1程度であり、徐々に高齢化が始まっています。支援を行う会員数を増やしていくために、支援を受けたい会員を卒業した元会員（こどもが小学生を卒業した方）へ、支援を行う会員へ積極的に勧誘を行います。また、50代～60代層の会員の確保にも取り組みます。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（ウ） 出産・子育て							
主な重要業績評価指標 (KPI)	乳児家庭全戸訪問件数の割合						
	積算方法	出生数に対する訪問数の割合					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	99% (H30年度)		100%	99%	100%	100%	100%
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		102%	84%	95%	100.0%	100.0%	99.60%
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	R6年度の全対象戸数487件（当市で訪問475件、里帰り先の自治体に依頼10件）のうち、485件の世帯に訪問を実施しました。訪問できなかった2件については、入院中であった児と里帰り先の医療機関で継続フォローされており保護者が訪問を希望しなかった児でした。全戸訪問アンケートにおいて、96.2%の方が訪問を受けてよかったと回答し、話を聞いてもらえた39.5%、気持ちが楽になった11.2%との回答がありました。 また、全戸訪問時に育児不安がある方や支援を必要としている方については、4ヶ月児健診までの間に、地区担当保健師が再度訪問するなどして対応しました（実件数24件、延件数29件）。					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	R5年度より母子モアプリを活用し、全戸訪問前にアンケートに回答いただき、訪問時には子どもの出生時の様子だけでなく、母の気持ちを把握できるようになりました。今後もその情報を生かして、さらに母に寄り添った対応ができるように心がけたいと思います。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 子ども支援課
学校管理課

基本目標（２） 子ども育みを支えるまち ～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～							
（エ）就労支援							
主な重要業績評価指標 （KPI）	子どもの預かり制度の利用者数						
	積算方法	アンファン利用者、児童クラブ利用者 アンファン：R2:991人 R3:200人 R4:200人 R5:700人 R6:1200人 児童クラブ：R2 13,008人 R3 13,488人 R4 12,000人 R5 12,000人 R6 12,000人					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	12,472人 (H30年度)		13,999人	13,688人	12,200人	12,700人	13,200人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		13,105人	11,724人	11,071人	11,206人	12,561人	13,305人
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	【子ども支援課】 1291人 新規で入園する児童に対してチラシを配布し、制度の周知を行いました。		【学校管理課】 12,014人 18ヵ所25支援単位の運用を民間に委託しており、民間活力（ノウハウ等）を活用、サービスの向上を図りました。 夏休み期間に行橋保育園児童クラブに加え、令和6年度より行橋南小学校児童クラブにて1支援単位追加で開所することで、受け入れ体制の強化を図りました。 今後更なる行政サービスの向上等を目指します。			
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	【子ども支援課】 令和5年度から利用料の無償化が始まり、利用希望者の増加の一因となっております。今後、利用実績の推移によっては受け入れ定員の見直しを検討します。		【学校管理課】 毎年利用者アンケートを行っています。各事業者へ利用者の声をフィードバックしており、課題等の洗い出しやサービス向上に努めました。今後も引き続き利用者満足度の向上を図ります。 令和6年度も利用希望者が多く、待機児童が発生しました。夏休み利用を見こした年度当初からの利用も多いため、夏休みの児童受入れ体制の周知を強化します。それによって、夏休みを見こした当初申請数を抑えることで、通年を通した待機児童解消を目指します。			
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	（質）学校退職者が不登校児童を支援するという民間の活動があると耳にしたが、把握しているか。連携や情報交換はできないか。 （答）聞いたことはあるが、詳細までは把握していない。活動を実施している方にもよるが、場合によっては連携や情報交換は可能。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

商業観光課

基本目標（３） 学びが仕事へ、仕事子どもたちの学びへつなげるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
（イ）就労・創業支援							
主な重要業績評価指標 (KPI)	起業相談件数						
	積算方法	市役所及び商工会議所への相談件数の合計（累計値）					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	69件 (H30年度)		60件 (初年度)	累計120件 (内60件)	累計180件 (内60件)	累計240件 (内60件)	累計300件 (内60件)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計71件	9件 (初年度)	累計25件 (内16件)	累計52件 (内27件)	累計75件 (内23件)	累計108件 (内33件)
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	相談窓口を市役所商業観光課及び行橋商工会議所に設けており、伴走型の経営指導や企業相談等を、商工会議所の経営指導員5名、補助員2名の計7名で対応している。（平日8：30～17：00） 相談件数の実績値は、商工会議所において相談があった件数。 また、起業セミナーを開催し、参加者に対し相談受付の周知を行った。					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	セミナーの開催及び相談受付の周知方法が難しいことが課題。（現時点では市報とホームページとセミナーでの紹介のみ） 商工会議所と連携し、必要な情報が起業に興味のある方へより届くように協議を行っていきたい。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

農林水産課・商業観光課

基本目標（３） 学びが仕事へ、仕事子どもたちの学びへつながるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
（ウ）農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	農林水産業の新規の従事者数						
	積算方法	「ゆくはしブランド」の商品に携わる新規の従事者数（累計値）					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	15人 (H30年度)	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			累計16人 (年度内1人)	累計16人 (年度内1人)	累計16人 (年度内1人)	累計16人 (年度内1人)	累計15人 (年度内0人)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		累計15人	累計15人	累計15人 (年度内0人)	累計15人 (年度内0人)	累計15人 (年度内0人)	累計15人 (年度内0人)
	目標値の変更	累計の実績値を令和6年度目標値に変更					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	目標値では、第1期総合戦略における地方創生推進交付金を活用した、水産品加工事業者の従事者数増加を計測しておりましたが、交付金を活用して開発した商品が販売終了となり、今後は当初目標とした計画通りの増加が見込まれない状況であります。 農業分野におきましては、地元の果物等を製品化に適した原料に加工する取り組みは行われていますが、6次化の代表例となるような取り組みはありません。しかし、若手事業者の中には、生産・加工・販売までを一貫して取り組んでいる例もあり、今後支援を継続していきたいと思いをます。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	今後も特産品をPRする取り組みを継続しながら、売上を増加させるような、販売促進につながる取り組みが必要だと考えます。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

農林水産課

基本目標（３） 学びが仕事へ、仕事子どもたちの学びへつながるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
（ウ）農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	行橋市魚市場の取扱量						
	積算方法	公設卸売市場の年間取扱量 第5次行橋市総合計画の目標値ベースを採用					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	1,484トン (H30年度)		1,850トン	1,400トン	1,500トン	1,000トン	800トン
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		1,838トン	1,140トン	1,415トン	833トン	444トン	484トン
	目標値の変更	取扱量が激減したことによる影響は短期間で回復は見込めないため、目標値を800トンとする。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	魚市場の毎月の報告で実績を出している。市場施設の維持整備や修繕に取り組んでいるが、水産資源の減少に加え、気候変動に伴う海水温の上昇や市場外取引の増加により取扱量が減少している。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	全国的に不漁が続いているが、取扱可能なものにおいては、引き続き販路拡大により取扱量を増やしていきたいと考えている。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	（質）年間取扱量が令和3年度から令和5年度で大きく減少しているが、理由は何なのか。 （答）漁師が減っており、10年前と比較すると半減し、現在は200人程度。獲れる魚介類の種類は変わらないが量が減少し、さらに買受人が販路を持っていないことによる安価な取引を避け、他の市場に卸されることも増えた。相談窓口を設置するなどしているが、なかなか定着しない。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 商業観光課・農林水産課

基本目標（３） 学びが仕事へ、仕事子どもたちの学びへつながるまち ～地方における安定した雇用を創出する～							
（ウ）農産物・水産物の開発・高付加価値化							
主な重要業績評価指標 (KPI)	水産加工品（牡蠣）の売上						
	積算方法	加工品開発した牡蠣の年間の売上高					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	600千円 (H30年度)		1,000千円	800千円	1,000千円	2,000千円	4,500千円
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		800千円	560千円	1,700千円	0千円	4,250千円	4,170千円
	目標値の変更	（R5年度より）カキ小屋での牡蠣加工品の年間売上高					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	令和5年度より、開発した牡蠣加工品の売上から目標値を変更して、市内カキ小屋（2店舗）の牡蠣加工品の売上をKPIとしております。行橋市特産の「豊前海一粒カキ」の魅力をPRするために、観光ガイドブック「旅する、ゆくはし」への掲載や、航空祭等で来場者への情報発信を行いました。					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	「豊前海一粒カキ」と同様に牡蠣加工品の売上高も増加させるため、ホームページでの情報発信やメディアでの紹介等、PR活動を積極的に実施します。					
	推進本部会議で出た意見等	なし					
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

秘書課

基本目標（４） 地域を支えあい、交流しあうまち～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
（ウ）共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	市ホームページ等の広報閲覧数						
	積算方法	①市ホームページ閲覧数の月平均 ③行橋市公式Instagramのフォロワー数、LINEの登録者数					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	新規		①235,000PV ②市内割合8% ③累計6,000件	①406,270PV ②市内割合11.97% ③累計18,375件	①460,000PV ③累計30,000件	①700,000PV ③累計33,000件	①400,000回 ③累計35,000件
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			①433,309PV ②市内割合10.56% ③累計14,206件	①444,685PV ③累計25,893 件	①649,631PV ③累計31,074件	①314,321回 (アナリティクス の変更により、PV 数→表示回数に変 更) ③32,865件 (Facebook含)	①320,091回 ③累計 34,496件
	目標値の変更	①に関して、Googleアナリティクスの仕様が変わり、PV数が表示回数に変更されたため、単位を「回」とした。 ③Facebookは事実上閉鎖となっているため、R6目標値の累計から除外した。					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	①広報基本方針や業務マニュアルに基づき、「脱アリバイ広報」「職員全員が広報担当」を目指し、職員への周知、HP記事パトロールの強化を行った。また、新規採用職員に対し、「伝わる」を意識した広報についての研修を実施した。 ③LINEでは、HPのCMSとの連携していることから、窓口等でお友達登録の勧誘、セグメント登録の推進を図り、積極的なLINE配信を全庁的に促した。また、Instagramでは、市民の方だけでなく、市外の方にもゆくはしの魅力を伝えられるよう、イベントや飲食店などの動画を積極的に配信することで、再生回数及びフォロワーを増やすことができた。さらに、市民向けの情報を発信するためのインフォメーションアカウントを別途開設し、それぞれのターゲットに応じた投稿を行った。					
事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	公式HPのアクセス数について、総数では前年度より増えてはいるが、イベント情報や行政手続きについての記事が十分であるとは言えず、今後は電話での問い合わせや窓口来訪者を減らせるような情報発信ができるよう、全庁的に取り組んでいきたい。記事の内容については、作成者の意識や技量でばらつきがあり、また特に大雨などの災害時には、情報発信の遅延は市民の命に関わるため、全職員が広報担当としてHPの更新が行えるよう、継続的に研修を行うなどして職員の意識向上に努め、市民が情報をより早く正確に受け取れるようにする。 また、LINEやInstagramのフォロワーを増やすため、引き続き窓口やイベント会場等での周知を徹底し、幅広い世代に情報届けられるよう、SNSを活用した情報発信にも力を入れる。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	（質）「脱アリバイ広報」について、具体的に知りたい。 （答）「応募はなかったけど、募集案内の情報は出したから良い。」と考えるのではなく、相手に届ける広報の事を「脱アリバイ広報」というキャッチコピーにしている。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

総合政策課

基本目標（４） 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
（ウ） 共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	多言語対応型生活・住環境アプリダウンロード数						
	積算方法	R 1 に開発した多言語対応型生活・住環境アプリのダウンロード数 (日本人・外国人問わず)					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	新規		100件	累計209件 (50件)	累計1321件 (100件)	累計1600件 (175件)	累計1800件 (200件)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			累計159件	累計1221件 (1062件)	累計1425件 (204件)	累計1599件 (174件)	累計1732件 (133件)
	目標値の変更	変更なし					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	転入してこられた方へ当アプリのPRを行い、ダウンロードを促している。 地域ごとで異なるごみ収集日の情報など格納し、利便性向上を図っている					
事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	投稿機能が活用されていないため、他市の実績を参考に利用者を増加させる方法を検討する。アプリには スタンプラリーやパスポート機能もあるため、コンテンツを充実させてダウンロード数増加を図っている が、翻訳機能の限界、維持費の増額などの課題があり、事業廃止の検討をしている。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課

介護保険課

基本目標（４） 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
（ウ）共助社会							
主な重要業績評価指標 （KPI）	見守りの連携企業数						
	積算方法	見守りの企業連携数の累計値					
	基準値	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	9 団体 (H30年度)	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			累計	累計	累計	累計	累計
			11団体 (内1団体)	12団体 (内1団体)	13団体 (内2団体)	15団体 (内1団体)	16団体 (内1団体)
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
	累計 10団体	累計 11団体 (内1団体)	累計 11団体 (内0団体)	累計 14団体 (内3団体)	累計 15団体 (内1団体)	累計 16団体 (内1団体)	
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	令和６年度は、働きかけにより１団体と協定を締結することができました。					
事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	独居高齢者が増加しており、特に男性の方が顕著です。そのことから、今後も見守り活動の必要性は高いものと思われます。そのため、今年度においても、企業等に働きかけを実施し、協定が締結できるよう努めて参ります。						
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	（質）見守りの連携企業はどのような企業があるのか。警備会社などなのか。 （答）保険会社などの一般企業。令和6年度の新規連携企業は「公益社団法人 行橋市シルバー人材センター」。 （意見）見守りの対象件数はかなり多いと聞いている。重要な活動だと思うので今後も様々な方法を考えていってほしい。						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 生涯学習課

基本目標（４） 地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
（ウ） 共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	樺市地域交流センター 年間施設利用者数						
	積算方法	公民館機能部分の利用者数と小売コーナー及びカフェの利用者数の合計 値					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	20,612人 (H30年度)		24,000人	21,400人	21,400人	21,400人	15,000人
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
		23,872人	7,457人	12,449人	16,388人	14,405人	15,151人
	目標値の変更	R4、R5年度の実績値を基に目標値を変更					
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	令和３年度より指定管理者制度を導入し、地域住民により組織された法人が管理することとなった。その結果、地元とともに開催した、夏祭りやクリスマスイルミネーションなどは、多くの人で賑わい、指定管理者制度のメリットを生かす施設の管理運営ができた。 また、カフェメニューでは、猪肉をつかったジビエカレーを用意し、好評であった。					
	事業の今後の課題や今後必 要と考える取り組み	指定管理者制度の導入から５年目を迎えるが、指導・助言を要することもあるため、今後は自立した管理運営を行えるようこれまで同様に連携を図っていく。					
推進本部会議で出た意見等	なし						
有識者会議での外部評価	意見なし						

「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組み効果・検証シート

担当課 防災危機管理室

基本目標（４）地域を支えあい、交流しあうまち ～時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する～							
（ウ）共助社会							
主な重要業績評価指標 (KPI)	防災知識の普及啓発						
	積算方法	年間での啓発活動開催回数の累計値					
	基準値	R1年度 目標値	R2年度 目標値	R3年度 目標値	R4年度 目標値	R5年度 目標値	R6年度 目標値
	新規		20回	40回	60回	80回	55回
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			4回 (実績4回)	18回 (実績14回)	25回 (実績7回)	38回 (実績13回)	52回 (実績14回)
	目標値の変更						
	KPI達成のために 行った事業（取り組み）	区長会や民生委員会、校長会等の機会をとらえて、防災講話の実施についてPRを行ってきた。また、市ホームページ（防災危機管理室）において、防災講話の案内を発信している。 実績としては、区長会、女性学級、小中学校等での防災講話を実施している。					
	事業の今後の課題や今後必要と考える取り組み	各種団体に対して幅広く防災講和等の機会を提供したい。その中で特に市内の小中学校に対して、防災意識向上を図るための対応を強化していく。					
	推進本部会議で出た意見等	なし					
有識者会議での外部評価		（質）防災危険地域の見直しなどはしているのか。 （答）今年度に国が危険箇所の見直しを行い、県のアセスメント調査を経て、来年度に本市へ情報が下りてくるため、それをもって防災マップの見直しを行う。					